

# 大学の世界展開力強化事業 取組概要 一橋大学

【構想の名称】(選定年度23年度(タイプA-I CAMPUS Asia Pilot Program))

## アジア・ビジネスリーダー・プログラム

【プログラムの目的・養成する人材像】

日中韓3か国の大学(一橋大学、北京大学、ソウル大学)の協働によって、アジア地域発の次世代ビジネスリーダー育成プログラムの標準化モデル構築を目指します。それぞれの大学ではカリキュラムの国際化を加速すると同時に、アジア地域の特色を生かして差別化を図ります。

【構想の概要】

一橋大学・北京大学・ソウル大学の3大学協働による日中韓の次世代ビジネスリーダーを育成するプログラム。MBAプログラムの学生を対象としたダブル・ディグリー・プログラム、学期間交換留学プログラム、短期集中プログラム及び教員チームによる共同研究を実施し、定期的に3大学合同でのシンポジウムを行います。

### ■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

(BESTシンポジウム、2013年11月ソウル大学にて)

#### ○ ダブル・ディグリー・プログラム

一橋大学・北京大学・ソウル大学のいずれか2校でそれぞれ必要な単位数を修了した生徒は、2校からMBA学位を修得することができます。平成25年9月より派遣・受入を開始し、対象は各大学1名ずつ、1校あたり合計2名です。

#### ○ 学期間交換留学

学期間に交換留学を実施することによって、交換留学生に挑戦的な学びの場を提供すると同時に、各大学の教育レベルの向上を目指します。また、3大学間の生徒の交流を深め、将来に向けた人脈作りに役立ちます。対象は各大学2名ずつ、1校あたり合計4名です。

#### ○ 短期集中プログラム「Doing Business in Asia」

東京、北京、ソウルの各都市で3大学がそれぞれプログラムを主催します。参加者は各大学から10名ずつ選抜、合計30名です。各都市をそれぞれ5日間訪問し、各大学で講義を受けるとともに、各都市で代表的な企業を訪問するなどの現場体験を行います。



### ■ 実施した交流プログラムの概要、今後の開始に向けた準備状況

(Doing Business in Asia : 東京モジュール 2013年8月)



#### ○ 短期集中プログラム「Doing Business in Asia」の開催

第2回「Doing Business in Asia」の開催により、アジアの次世代ビジネスリーダー育成を実施することができました。また、一橋大学、北京大学、ソウル大学の現役の学生が各10名、東京、北京、ソウルにて共に行動をし、3大学の学生から成り立つチームによる、フィールドスタディやプロジェクトのプレゼンテーションを実施することにより、強力な協力関係を築くことができました。参加学生からは昨年に続き、素晴らしいプログラムだったとの評価アンケートと感想が寄せられました。

### ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

#### ○ 一橋ICSからの学生の派遣

ダブル・ディグリー・プログラムは北京とソウルへ各1名、学期間交換留学生は各2名の派遣が可能。短期集中プログラムは各校10名までの参加が可能。

#### ○ 一橋ICSへの留学生の受入れ

ダブル・ディグリー・プログラムは北京、ソウルから各1名、学期間交換留学生は各2名の受入れが可能。短期集中プログラムは各校10名までの参加が可能。

### ■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

#### ○ 北京・ソウルへの旅費の負担と、フォローアップ体制

ダブル・ディグリー・プログラム、学期間交換留学または短期集中プログラムに参加する一橋ICSの学生は、北京またはソウルへの往復の旅費などを本プログラムが負担します。派遣先からは奨学金が本プログラムより支給されます。一橋ICSの学生には、申請段階から帰国後のフォローまで、あらゆる支援を実施します。

#### ○ 北京・ソウルからの旅費と奨学金の負担と、フォローアップ体制

ダブル・ディグリー・プログラム、学期間交換留学または短期集中プログラムに参加する北京大学およびソウル大学の学生は、日本への往復の旅費などを本プログラムが負担します。また、一橋ICSに滞在する期間、奨学金が本プログラムより支給されます。留学生が学業に専念できるように、支援体制を充実させています。

### ■ 教育内容の可視化・成果の普及

#### ○ カリキュラムの新規開発や改訂、共同研究の実施

本プログラムに参加する3大学の学生とその派遣・受入を行う一橋ICSの学生の学習の場をより良いものとするために、カリキュラムの新規開発や改訂を進めます。また、共同研究を実施し、本プログラムに成果を反映します。

#### ○ 卒業生のネットワーク、同窓会組織の創設

本プログラムに参加し、卒業した学生のデータベースを管理し、同窓会組織を創設します。卒業生は将来的にシンポジウムやCEO講演シリーズ、短期集中プログラムなどへの参加が可能になります。

	H23	H24	H25	H26	H27
日本(J)での受入	C 0 K 0	C 10 K 10	C 11 K 10	C 13 K 13	C 13 K 13
中国(C)での受入	J 0 K 4	J 12 K 11	J 11 K 10	J 13 K 13	J 13 K 13
韓国(K)での受入	J 1 C 0	J 12 C 11	J 11 C 10	J 13 C 13	J 13 C 13

注)H23~H25は実績、H26以降は計画。